

「マルチステークホルダー方針」

当社は、企業経営において、お客様、従業員、株主、取引先、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、当社の経営理念に合致し、当社グループの持続的な成長・発展につながると考えております。その観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取組を進めてまいります。

記

1. 従業員への還元

当社は、「人」が最も重要な経営資源であると考え、サステナビリティ基本方針として「従業員が明るく、元気に、楽しく働くための職場づくり」を掲げ、従業員の能力開発、ワークライフバランスの推進等を通じて、持続的な成長と生産性向上に取り組み、付加価値の最大化に注力します。

その上で、成長により生み出した収益・成果は、社会の動向や自社の状況を踏まえ、適切な方法による賃金の引上げに反映します。賞与についても、部門業績評価、個人業績評価、及び生活給であることも勘案し、会社業績に連動して支給することで従業員への持続的な還元を目指します。

（個別項目）

具体的には、賃金の引上げについて物価高に負けない賃金アップの実施や休日数の増加に取り組むとともに、教育訓練等について、その他の積極的な人材投資として、新入社員から管理職までの階層別研修、選抜型の次世代リーダー研修、自己啓発・資格取得支援など人材育成の諸施策を継続して実施します。また安全衛生活動及び健康の維持・増進活動など、健康経営の推進にも積極的に取り組んでまいります。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

なお、パートナーシップ構築宣言のポータルサイトへの掲載が取りやめとなった場合、マルチステークホルダー方針の公表を自主的に取り下げます。

・ パートナーシップ構築宣言のURL

【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/51288-05-01-hyogo.pdf>】

また、消費税の免税事業者との取引関係についても、政府が公表する免税事業者及びその取引先のインボイス制度への対応に関する考え方等を参照し、適切な関係の構築に取り組んでまいります。

3. その他のステークホルダーに関する取組

当社は、食肉事業の垂直統合というユニークな事業戦略により、安心・安全な食品をお客様の満足する適正な価格で提供することを通じて国内外の生産農家、食肉工場で働く人々、取引先の方々、消費者などと良好な関係を築き、社会課題の解決に向けて協力することにより、持続可能な畜産業界および社会の実現に取り組んでまいります。

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組を進めてまいります。

以上

令和6年3月7日

(令和7年10月24日 内容変更による更新)

エスフーズ株式会社

代表取締役社長 村上 真之助